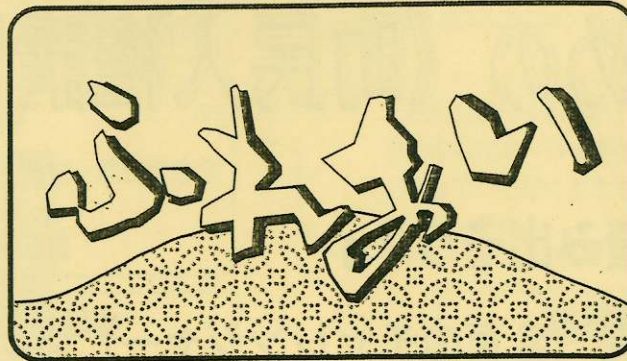


いろんな人と人とのつながり、
ふれあいを美浜のMと波で
イメージしました。



美浜町人権尊重啓発協議会会報

第51号

発行:平成25年8月23日
(年3回発行)

編集:人権協広報調査部会

連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-1212

FAX 32-1222

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

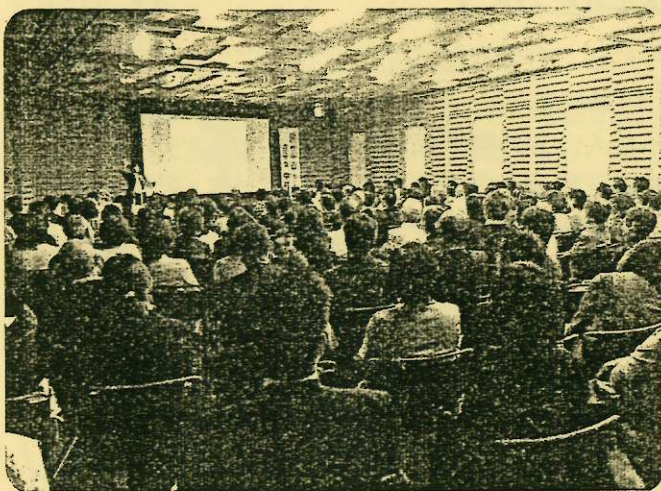
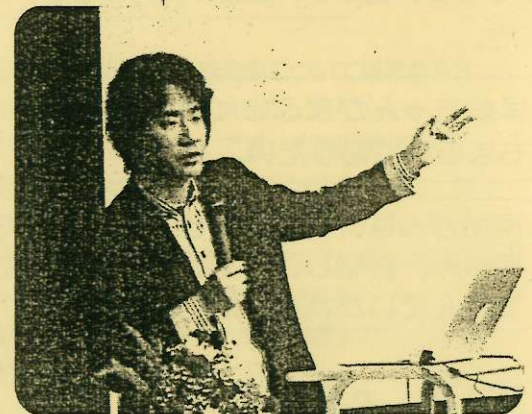
“最期” はやっぱり家がええなあ

第1回町民人権講座 (5月16日)
「地域に“寄りそ医” 20年」

「高齢者」をテーマに、名田庄診療所 所長の中村伸一さんに講演していただきました。

自らを外科医でも内科医でもなく『寄りそ医』と呼び、地域医療に全力を傾けておられる中村先生。『生き方』は『逝き方』と説かれ、最後まで家で家族で暮らしたいという住民の願いに応えるべく日々の医療活動に当たっておられます。

「家の力」というお話もありました。末期がんの患者さんでも、病院から住み慣れた自宅に帰ると、「やっぱり家はええなあ」という満足感を持ち、食欲も回復し気分も元気になるのだそうです。自然な“最期”を迎える在宅死は、まさしく生き方なのだと感じさせられました。「いい人生だった」と言える、言ってもらえる終末期医療が広がっていくことを願っています。



在宅での看取りの大切さ、自宅という大きな栄養剤のすばらしさ、それを支えている周りの大切さがよくわかりました。

病気ばかりでなく、その人の思いまで理解し寄り添う姿に感動しました。まさしくホスピタリティの精神そのもの。心に灯りが点りました。

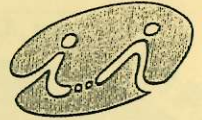
「家の力」というのが大きいことが分かった。人の思いを知り、寄り添うことの大切さを感じた。

私たち老夫婦は病気になれば絶対入院で最後まで病院だと思っておりましたが、自宅介護を考え、1人になっても医療を信じ、自宅で最期を迎えたいと思いました。

末期医療のあり方について、医療だけではなく心の医療がどれだけ本人にとって、また家族にとって大切なことわかりました。

～祝！ 町民人権講座 通算100回！おめでとうございます。～

あなたのための《町民人権講座》



第2回 6月16日(日)

『さらなる一步を踏み出そう!』

講師：^{たてきさえ}立木早絵さん (全盲のチャレンジャー)

「私だって普通です。見るのが苦手な普通の女の子です。」と力強く語られた早絵さん。その思いが会場に伝わり、感想を書かれた102名の皆さんからは、盲目のハンディのことより、目標を持つこと、挑戦すること、優しさ、感謝の気持ちなど、人としての生き方を見つめ直したという声がたくさん寄せられました。



早絵ちゃんがまぶしく感じました。でも、私もまぶしくありたい。

「一生懸命やれば、何かが見えてくる」という言葉に大変感銘を受けました。

早絵さんは、視力があってもなくても人生を楽しみ、挑戦し、自分を愛し、そしてゆるして進んでいかれるのだと思いました。

私も、今一番何がしたいかよく考えて、それに向かって挑戦していこうと思います。

第3回 8月4日(日)

映画『遺体 ~明日への十日間~』

原作：石井光太 / 脚本・監督：君塚良一 / 主演：西田敏行

一話しかけることで、遺体は人としての尊厳を取り戻す一

011年3月11日 未曾有の災害に直面した人々。その中には、自分も被災者でありながら、悲しむ時間さえ無く、遺体の搬送・検死・DNA採取・身元確認を行わなければならない人たちがいました。犠牲になった人たちの尊厳を守りながら、懸命に尽くしたのです。この映画は、事実を基に、報道では伝えきれなかった被災者の姿を私たちに伝えていきます。そこには、災害や被災地への関心を薄れさせてはいけない、という想いが込められています。



観たかった映画です。主演された方の戸惑いと同様に、映像化された惨劇に足を運ぶことをためらっていましたが、なびあすで上映される事を知り、「見るべきもの」なんだと運命を感じました。

自分がそこにいたとき、どれだけのことができるだろうと考えながら見せていただきました。「死体ではなくご遺体」という言葉、気持ちの持ち方がとても心に残りました。

死者何人という報道で感ずる遺体の後ろに、これだけの多くの方々の思いのあること、人の尊厳ということを改めて感じました。

両親や親戚、友人等何人もの縁のある人の遺体と対面してきたが、今回の映画を観て人間の尊厳と人の温かさ、災害の恐ろしさ等々を実感した。

平成25年度 「人権協」 部会紹介

※全7部会の中から今回は4部会の紹介をします。

広報小部会

松井明彦 森本 哲 木子隆史 原田登志子
西野泰弘 山野泰孝
宇都宮 貴 森下秀樹 竹内正雄

この広報「ふれあい」を編集・刊行しています。
今年度は51号～53号を発行し、人権協の活動をみなさんに
知っていただくとともに、人権に関する情報の提供を
おこないます。

作品公募・意識調査小部会

松井明彦 河合政志 田辺かづ子 孫野正徳
中西恵美子 山口有一 富田享幸
川尻宏和 志賀大輔 志賀 司

推進団体学習小部会

竹仲敏治 松田うめ子 兵庫賢一 大塩友之
畠中治男 寺田真一 渡辺順一
飯田倫子 江南恵美子

人権に関する作品（「ふれあい」をテーマとした短い
手紙や絵・ポスター・写真）を広く公募しています。作
品制作を通して、身近なところにある人権や人とのふれ
あいについて考えていただきたいと思います。また、入賞作品を、表彰式のときや人権週間中に、なびあ
すに展示するとともに、作品集にまとめて配布するなど
して、広く町民に知らせていく活動もしています。

人権協発足2年目の平成10年より、7年ごとに実施
している町民意識調査も、昨年3回目の調査を行い、結
果の集計と分析等に取り組ん
でいるところです。一部のま
とめは、昨年中の広報「ふれ
あい」に臨時の差し込みで報
告させていただきましたが、
今後も随時そのような形でお
知らせするとともにすべての
項目の集計結果と分析を冊子
にまとめて報告する予定で
す。



各集落や団体、企業等に、人権問題について研修会を行っ
ていただくためのお手伝いをしています。

『応援します！こんな活動を』では、集落評議員を中心に
各集落で研修会に取り組んでいただいています。また、集落
研修会をどのように持ったらよいのかということで、集落代
表評議員の研修会も行っていきます。その中で、年々取り組み
の意欲が高まってきていることを感じています。

また、『知らせてください！こんな活動を』では、集落内
であいさつ運動や地域の清掃・美化活動、花いっぱい運動、
子どもと大人とのふれあい活動などを行っていただいたら広報
「ふれあい」で、お知らせ
すると共に活動費の一部を
応援させていただきます。

本年度は、男女共同参画
推進事業と連携して、より
多くの取り組みが出来るよ
う頑張っていきたいと思っ
ています。



人権意識の高揚を目指して、毎年6回の講座を企
画しています。講師の選定には特に時間をかけ、内
容も「講演」だけでなく、「音楽」「映画」「落語
」などを取り入れ、一人でも多くの方にご参加いた
だけるような工夫をしています。

毎回、参加者からたくさんのご意見・ご感想をい
ただいており、とても励みになっています。また、
それらをもとに反省会を行い、次の運営に生かして
いけるようにしております。

皆様と一緒にがんばっていききたいと思います。

町民人権講座小部会

竹仲敏春 森本克行 池本敏子 高木賢治
鳥本 均 田中涼子 四ッ橋政和
野原佐智夫 加茂知之 三田紘司 浜野祐介

第4回町民人権講座

【日時】9月11日(水) 19:30～
【場所】なびあすホール
【内容】笑福亭松枝さん(落語家)
「男女共同で△じゃない○い世の中」

第5回町民人権講座

【日時】10月17日(木) 19:30～
【場所】なびあすホール
【内容】関西京都今村組
(今村克彦+ダンスチーム)
【演題】未定

第6回町民人権講座

【日時】11月12日(火) 19:30～
【場所】なびあす
【内容】村崎太郎さん(猿回し芸人)
「(仮)橋はかかる
～被差別部落に生まれ育って～」

こえ 声 こえ

「ふれあい」第50号をお読みになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので一部を紹介します。

○美浜町に嫁いで来て、「人権」という言葉のついたイベントが多く、今まで何とも思っていなかったのですが、少しずつ関心を持つようになりました。…と言っても、知識もなく、内容もまだまだ理解できていないので、少しずつですが、身につけていきたいと思います。

(河原市 Yさん)

○平成24年度の「人権のつどい」は大変すばらしかったです。今井絵理子さんの「親子の絆」にかかわるお話は心打つ内容で感動しました。又、ミニライブもとてもよかったです。来年度も期待しています。すてきな人を選んで下さい。

(寄戸 Mさん)

○人権の手紙、どれもすばらしかったです。入賞をされてない方も、それぞれにすばらしいものがあるんでしょうね。こういうコンクールがあると感謝するきっかけになっていいですね。

(野口 Uさん)

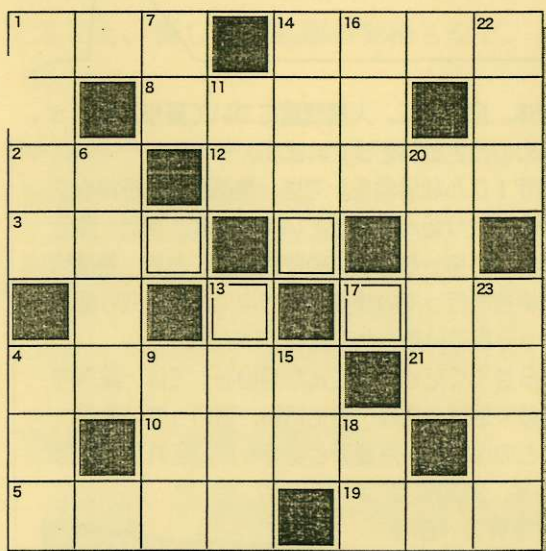
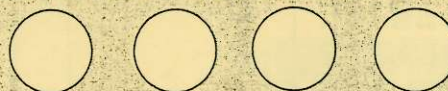
■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷市29-3 美浜町生涯学習センターなびあす内 人権協事務局
- 〆切は、平成25年9月30日(月)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「たびだち」でした。当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

津原 露美さん (河原市) 島田久美子さん (木野)
吉田 美紀さん (河原市) 嶋田恵梨花さん (麻生)
塩見 孝志さん (佐田)

人権クロスワードパズル

二重わくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヨコのカギ

- 1: ボウリングで、第2投ですべてのピンを倒すこと。
- 2: 旧国名の一つ。〇〇海老、〇〇物語、〇〇神宮など。
- 3: 酸素と化合して水になります。
- 4: 手塚治虫や赤塚不二夫などの漫画家が居住していた賃貸アパート。
- 5: テントを張って野営すること。
- 8: 結婚の仲立ちをする人のこと。月下氷人とも言う。
- 10: 一つにまとめること。または同一であること。
- 12: 小麦粉に砂糖などを加え、棒状に揚げたお菓子。
- 14: 空気を自動で吸い、中のゴミやホコリを取ります。
- 17: 江戸時代の通貨単位。
- 19: 男性から見た女性、または女性から見た男性。
- 21: 裏の裏の裏。

タテのカギ

- 1: 胡椒や唐辛子などの香辛料のこと。
- 4: 周りより高く突き出ている部分のこと。
- 6: 今は2013年です。
- 7: ほら〇〇、カギ〇〇、毛〇〇。
- 9: 赤や白といった種類がある飲み物。
- 11: 気体または液体から固体の状態に変化すること。
- 13: 「ウサギとカメ」や「アリとキリギリス」などの話がある寓話集。〇〇〇〇童話と呼ばれることも…
- 14: 出家して仏道を修行する人のこと。
- 15: マタドールが戦う動物。
- 16: 小麦粉を練って切った麺。水沢〇〇〇、氷見〇〇〇、稲庭〇〇〇などがある。
- 18: 夕方に見える金星のこと。〇〇の明星。
- 20: 漆やペンキのように、物の表面に塗って保護・着色するものこと。
- 22: 「野球」「ビリヤード」「おいちょかぶ」に共通して関連する数字は?
- 23: 当たるも八卦、当たらぬも八卦。

編集後記

町民人権講座の感想を読んでいると、講演に感銘を受け、若い人たちに聞いてほしいという声がよくある。確かに、毎回すばらしい生き様にふれることができる。

しかし、「若い人たちに」とおっしゃる皆さん自身の背中も、まだまだ後輩に見せてほしい。身近に暮らす皆さんが輝いていることこそ、後に続く若者に希望を与えるはず。

陸上競技場にたとえるなら、1レーンでしごきをける選手たちもいれば、5レーンをマイペースで走る人、さらに8レーンをゆつくりと歩き続ける人がいる人生マラソン。それぞれが、前を向いて進む一人一人の姿に励まされる。

立木早絵さんの講座の感想の一つ。
一年をとっていても、「さらなる一歩」をめざすことの大切さを感じました！

私も、あなたも、「観客席」に座るのは、まだまだ早いです。そこは、大先輩の方々が満席ですよ。